－ 日本赤十字看護大学 －

基礎ゼミⅡ

2013/11/06

到達目標

しっかりとしたコミュニケーションがとれる
医療者になってください。

1. 分かっていること・分かっていないことを区別する。
2. 分かっていないことを明らかにする方法を知る。
3. 調べた内容をまわりの相手にしっかり伝える。 TODAY

→ **自分が「分かる」こととうまく「伝える」ことのあいだには**
100億光年のギャップがある。

プレゼンのレシピ

STEP 1

現状分析
- だれに何を知ってもらいたいか

STEP 2

話の構成を考える
- ピラミッドストラクチャー

STEP 3

スライドを作る。
- プレゼンのKiss

STEP 4

練習
- お･も･て･な･し！

お･ひ･さ･し･ぶ･り！

Step 1: 現状分析

START

- プレゼンする相手は、
  「どこ」にいますか？

GOAL

- プレゼン終了時に
  何を得ていて欲しいか？

スタートとゴールの距離を埋める

プレゼンテーション

Step 2: 話の構成を考える

- 伝えるメッセージの構成を考える。
  - 分かりにくい文書・プレゼンテーションは構成に問題あり。

- 分かりやすい文章の条件
  - 主たる大きな考え・事実を提示する。
  - その大きな考えを構成する小さな考え・事実を並べる。

ピラミッド構造にする！

Step 3: スライドを作る

- プレゼンテーションのKISS
  - Keep it simple, stupid! (=「単純にしろよ、バーカ！」)
  - One Slide, One Message.
  - Less is more.

ダメな例

- 字が小さくて読めない！
- 早口で「何言っているの？」
- アニメーションの多用
- やたらとカラフル

スライドを作るうえでの注意

考えながら作らない。

プレゼンの内容は固めておこう！
（特に図表を作成するとき）

作りながらデザインを変えない。

いじると統一感がなくなってしまう！

スライドを作るうえでの注意（１）

考えながら作らない!

- パソコン上での操作は意外と時間がかかるので、プレゼンの内容は事前に決めておく。そして決めた内容をPPT上に再現するようにする。
  - 全体で何枚か？（1分1枚が目安。）
  - 内容の順番・配分を決める。（コマ割り）
  - 使う素材は集めておく。（同じ作業を分散させない。）

- 特に図表はイメージを固めてから！

スライドを作るうえでの注意（２）

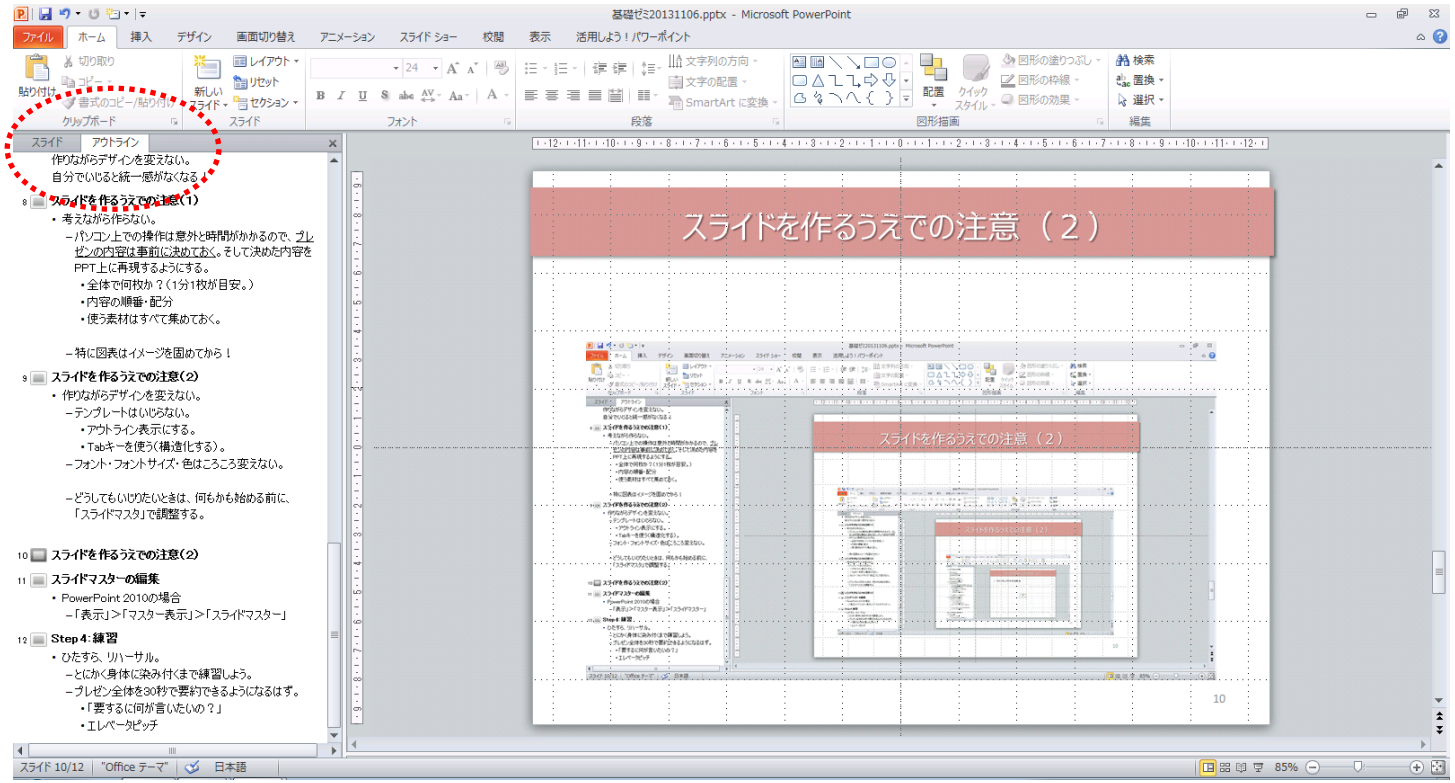
作りながらデザインを変えない!

- テンプレートはいじらない。
  - アウトライン表示にする。
  - Tabキーを使い、プレゼン内容を構造化する。
- フォント・フォントサイズ・色はころころ変えない。

- どうしてもいじりたいときは、何もかも始める前に、「スライドマスタ」で調整する。

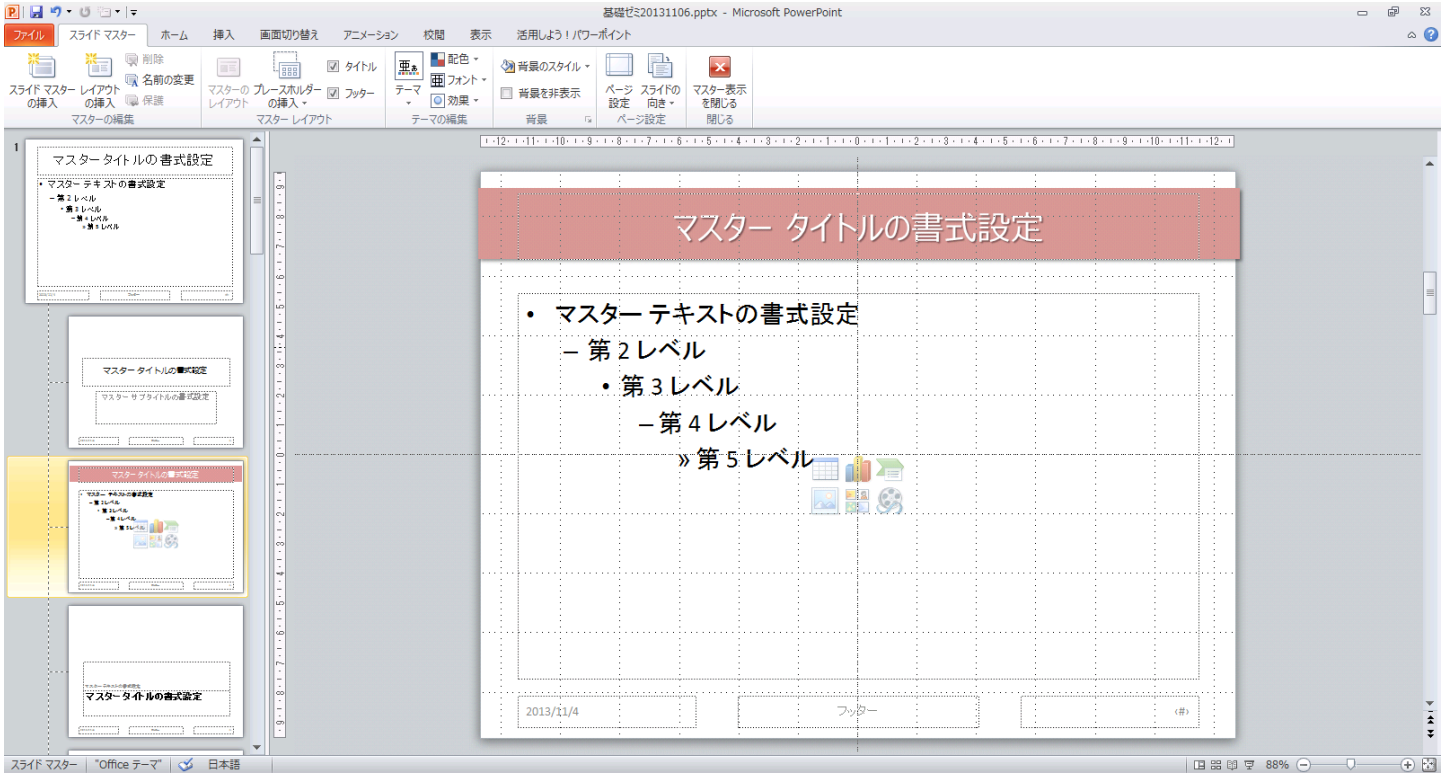
アウトライン表示にする

- Tab/Shift+Tabで階層を変える。
- なるべくマウスを使わない（いろいろいじってしまう）。



スライドマスターの編集

- 「表示」>「マスター表示」>「スライドマスター」
- 本文のフォントサイズは24pt以上（8行程度におさめる）。

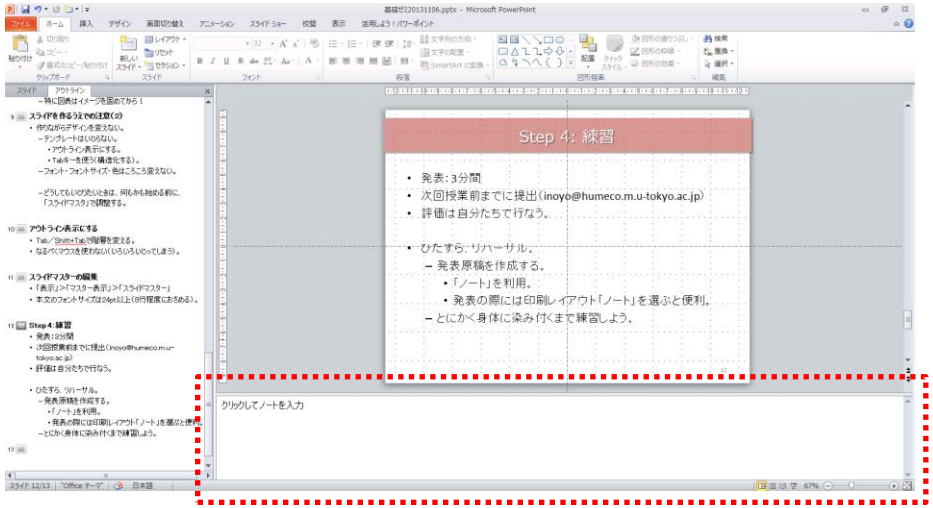


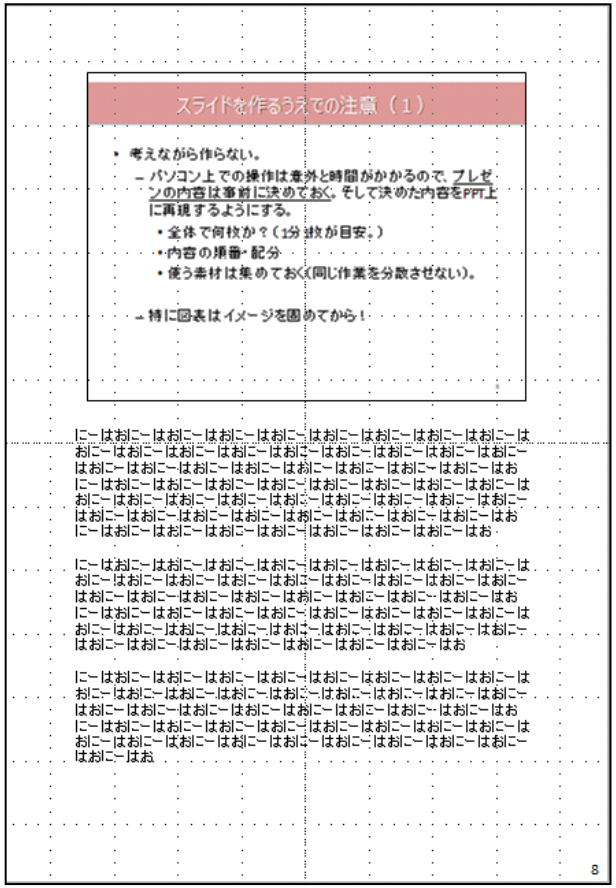
Step 4: 練習

- 発表：3分間
  - 次回授業前までに提出（inoyo@humeco.m.u-tokyo.ac.jp）

- ひたすら、リハーサル。
  - 発表原稿を作成する。
    - 「ノート」を利用。
    - 印刷レイアウト「ノート」で印刷すると発表時に便利。
  - とにかく身体に染み付くまで練習しよう。

「ノート」の活用





「表示」>「プレゼンテーションの表示」>「ノート」